

夢を育て、力をあわせてはばたこう！

2011年 1月 15日発行

カ ム ニ テ イ ー

特定非営利活動法人 『翔夢』

障がい者ふれあい交流センター

翔夢Nity

NO. 35

〒547-0031

大阪市平野区平野南3-8-16

TEL (06) 6760-6167

<http://www.npo-cam.org/>e-mail: nandemosoudan@npo-cam.org

特定非営利活動法人 翔夢 法人本部 大阪市平野区平野南3-8-16

障がい者ふれあい交流センター

大阪市平野区長吉長原2-14-15

相談支援事業

ホープネット

TEL (06) 6760-6167 FAX (06) 6760-6168

就労継続支援(B型)事業

ドリームネット

TEL (06) 6760-6181 FAX (06) 6760-6182

地域活動支援センター

ハートネット

TEL (06) 6760-5343 FAX (06) 6760-5344

障がい者ふれあい交流センター 第2

大阪市平野区長吉長原2-11-8

生活介護事業

ジョイネット

TEL (06) 6155-9901 FAX (06) 6155-9902

障がい者ふれあい交流センター つるみ支所

大阪市鶴見区浜4-18-7

就労継続支援(B型)事業

ワークネットつるみ

TEL (06) 6912-7333 FAX (06) 6912-7334

ご協力のおねがい

NPO法人「翔夢」では、アルミ缶のリサイクル活動も行っております。近隣ならばお伺いいたしますので、ご協力をお願いいたします。

ご連絡は下記へ。

ハートネット

TEL (06)

6760-5343



翔夢Nity. 35 もくじ

- P1…………… 表紙
- P2…………… 厨房より・お知らせ
- P3…………… 理事長新年あいさつ
- P4・5… レクリエーション
- P6…………… こころの病気基礎講座
- P7…………… 新職員の紹介
- P8…………… メンバー紹介

表紙は、近隣神社で初詣の写真です。

厨房からのお便り

新年、明けましておめでとうございます。

年末・年始は寒波と積雪でとても寒かったですね。

冬は体調をくずしやすい季節なので、体力のつく食事を心がけたいですね。今回は、スタミナのつく冬野菜料理のレシピです。

冬は、根菜類が栄養も豊富でおいしい季節なので簡単でおいしい筑前煮の献立を紹介します。

是非、お家で作ってみてください。

【材 料】

にんじん	50g	一口大の乱切り	
レンコン	40g	一口大の乱切り	
こんにゃく	50g	一口大の乱切り	
鶏もも肉	75g	一口大の乱切り	
さんど豆	1本	すじをとり半分にかつ	
干し椎茸	4g	戻して一口大にかつ	
ゴボウ	40g	一口大の乱切り	
ゴマ油	1cc		
薄口醤油	8cc		A
濃口醤油	8cc		
さとう	5g		
みりん	5cc		
酒	5cc		
水	75cc		

筑前煮 【調理方法】

- ① カットした材料は、熱してサラダ油10ccを敷いた鍋でサッと炒め、Aを加え煮る。
- ② ①の具材に味がしみ込んだら、仕上げにさんど豆・ゴマ油を入れ、香り付ける。
- ③ 器に盛り付ける。

賛助会員入会のお願い

「翔夢」の活動をご理解いただき、賛助会員に入会をお願いいたします。

募金・賛助会費振込先

郵便振替

口座番号 00980-8-317336

口座名称 特定非営利活動法人 翔 夢

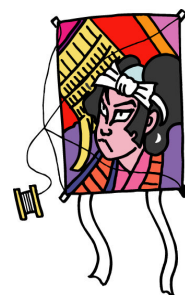
三菱東京UFJ銀行 平野南口支店

口座番号 普通 4636394

口座名称 特定非営利活動法人 翔 夢

新年あけまして おめでとうございます

理事長 西脇 朗夫



旧年中は皆様に多大なご協力を承り法人一同感謝いたしております。

さて昨年度は鶴見区に「ワークネットつるみ」がオープンし、利用者の数も大幅に増え事業が益々発展を遂げています。しかし、我々の仕事が多岐にわたるため、縮小に向かっているほうが世の中は落ち着いていると考え、喜んででもいられません。

自立支援法が施行されて四年近くになります。特別支援学校では生徒数が増大し、教育内容の充実どころか、教室の確保すら間々ならない状況です。あわせて作業所などの進路先についても、制度上先

生が紹介すら出来ず相談支援センターでも同様のことが起こっています。ある意味福祉制度がものすごく使いにくい状況になってきています。昨年だけでも翔夢にきた相談

で、三障害のどの手帳もお持ちでなく緊急に対応をしないケースが五ヶ所あり、福祉制度を細やかに伝えられるところの不足が感じられます。また相談を聞いて緊急に生活保護の申請をしなくてはならないケースも一〇ケース以上、緊急の医療対応が必要なケースや破産手続きをしなくてはならないケース、家の確保をしなくてはならないケース、親子問題を早

急に解決しなくてはならないケースなど、措置制度のときは行政がしていた様々な問題を現在は民間で見ることになっていますが、制度としては不十分でほとんどが放置状況になっていきます。

そのようなケースを発見するためには、平野区全域に無料相談ビラを配布。また、新聞に折込に入れる事や公共機関に置いていただくなど、皆様に知らせる取り組みを行ってまいりました。その結果、相談電話だけでも三千件近くの数にのぼり多くの方々の対応をしております。親亡き後の取り組みも成年後見人の取り組みと合わせ

て行ったり、企業就労に向けても様々な展開を図ってまいりました。

皆様との交流を図る取り組みも様々な形で地域に発信してまいりました。ヘルパー利用の相談では五〇件近くの依頼に答え安心できる生活の確保に努めています。

しかしながらミスも多く、多くの利用者様のご迷惑につながったのも事実です。まだまだ、皆様方のご要望に十分こたえられていたとはいえない未熟なところもたくさんあり、早急に改善していかなくてはと考えているところであります。今後は職員全員が前向きに学びみなさまと力をあわせ、障害者の生活と権利を守るため奮闘してまいりたいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

冬の2大レクリエーション

クリスマス会&もちつき大会

去る十二月二十四

日、翔夢でクリスマス

会が行われました。とても寒い日でしたが、いつもの顔ぶれが昼近くにぞくぞくと集まりました。いつも過ぎている部屋を「クリスマス色にしてしまおう！」と各事業所では前々日（前日は祝日でした）より飾り付けを行いました。第一施設でも、いつもは作業をしている部屋に、電飾と一カ月前からジョイの取り組みで作ってもらっていた、特大サンタ&トナカイのセットを壁に設置し、窓には暗幕をして外からの光を遮断し一歩部屋へ入

クリスマス会

る十二月二十四

日、翔夢でクリスマス

会が行われました。とても寒い日でしたが、いつもの顔ぶれが昼近くにぞくぞくと集まりました。いつも過ぎている部屋を「クリスマス色にしてしまおう！」と各事業所では前々日（前日は祝日でした）より飾り付けを行いました。第一施設でも、いつもは作業をしている部屋に、電飾と一カ月前からジョイの取り組みで作ってもらっていた、特大サンタ&トナカイのセットを壁に設置し、窓には暗幕をして外からの光を遮断し一歩部屋へ入

また、ジョイネットでは大きなツリーにたつぷり飾りをつけたものや、十一月から



着々と手作りしていたサンタ&トナカイなどなど、手作り感いっぱいになりました。そしてワークネット（つるみ）では、仕事をしながらもクリスマス気分にと雪だるまやソリの電飾を置き職員は仮装・・・となっていました。うだったのでしょうか。

それぞれの事業所で行われたクリスマス会も食事はみんな、ポテトサラダで創った雪だるまのあったオードブルから始まり、ビーフシチュー、そしてメインの若鶏のデミグラスソース冬仕立てとツリーをイメージしたチキンライス。どれもクリスマスをイメージした一品になりました。

素敵なプレゼントが

その後ビンゴゲームで、何が当たるかわからないお楽しみプレゼント交換に歓声があ



がりました。一番にあがった人には翔夢からのプレゼントが送られました。それぞれの事業所で当たった方々に気に入ってもらえれば、と思います。

例年のような、大きな取り組みにはなりませんでしたが、それぞれ楽しんでいただけたことと思います。

（安河内）

地域との交流も

もちつき大会

翔夢の二〇一〇年最後の行事として十二月二十六日の日曜日に「餅つき大会」を行いました。例年は新春餅つき大会という形で年明けの一月に開催して

いましたが、今回は初の試みで年末に行いました。餅つき

大会は翔夢にとって地域の方との交流を深める場でもあり、少しでも翔夢の事を知ってもらえるような取り組みにしたいと考えていました。そ



こで考えたのが、翔夢でメンバーさんが創作活動をした物や、お互いに交流し合う場でもあるジョイネットと軍手と

綿を主な材料として作っていたウサギのぬいぐるみをバザーで販売し、地域の方々にも広めたいと思いましたが、このウサギのぬいぐるみはジョイネットに通所されて

いる田花隆男さんのお母様にお願いして教えて頂いた作品でした。田花さんには十一月

お餅の他に豚汁も

の下旬からメンバーさんに何度も教えに来ていただき、また前日まで中心になって作って頂きました。

餅つき大会は「障がい者ふれあい交流センター」の前を利用して行い、屋外で食べて

もらう予定でしたが当日は不安定な天候で残念ながらメンバーさんには室内で食べてもらうことになりました。屋外

で食べることはできませんでしたが、代わりに一生懸命に餅をつき、とても弾力のある美味しいおもちが出来上がりました。お餅の他にも温かい

豚汁が出されました。

またバザーに出品したウサギのぬいぐるみは作った一体すべて購入して頂くことができました。

悪天候のため当日は大幅に予定が変わってしまいましたが、メンバーさんに「美味しい」と言ってもらえたので少し安心してました。来年はもっと皆で楽しめる行事を作りたいと思います。

(雑賀)



11111の病気の基礎講座

自閉症とは：

前回までに、自閉の方の特徴などを見てきました。皆さん、自閉の方の理解が進んでいたかかと思えます。

では、実際に自閉の方とはどのような関わっていけばよいのでしょうか？簡単ですが、いくつか自閉を持たない方が留意しておくべき点を述べていきたいと思います。

一．自閉の方は聴覚よりも視覚が優位な方が多いです。指導や指示を行う場合は、言葉だけで行うのではなく、文字や絵または実際に見せるなど、目で見てわかるように行う方が、よりの確に理解してもらえます。その際、PECSといったような絵カードを用いるのも効果的です。

から未来へと流れていくこと。過去・現在・未来の分離、すべてに当てはまります。この障害があるため、自閉の方は、過去にあった出来事を現在の出来事と混同してしまったりすることがあるのです。

を自動的に取捨選択できない自閉の方の特性からくるものです。

PECS：絵カード交換式コミュニケーションシステム。自閉症やその他のコミュニケーション障害を持つ方に、自発的にコミュニケーションするよう教えるためのパッケージです。

二．自閉の方は、見通しがなくなることを極端に恐れま

す。スケジュールの突然の変更や、突発的な何かをさせることはなるべく避けてあげてください。仕事をさせる時など、指示を途中で変更したり、時間を延長したりするなどはしない方がよいでしょう。それだけでパニックに陥り、行動できなくなる恐れがあります。

三．時間の概念の理解が困難な方が多いです。これは、時間という考え方、時間が過去

四．外部からの刺激に敏感に反応される方が多いです。特に、光や音などには通常の方には何ともないレベルのもので、自閉の方には刺激が強すぎるだけでなく、苦痛を感じることさえあります。集中してもらいたい場合には、周囲を囲った位置にいられるようにするなど、刺激を遮断

五．自閉を持たない方は注意を分散することができたり、複数の行動を一度に行うことが可能であったりします。しかし、自閉の方にとっては、注意が一点に集中してしまふことが多く、また、多くの自閉の方は並列に物事を処理することが苦手です。周りの方は、なるべく自閉の方が一つに集中できる環境を整えてあげることが重要です。

以上、自閉の方と関わりを持たれる方へのアドバイスを並べてみました。自閉の方も環境を整え、周りの方が注意してあげれば、素晴らしい能力を発揮し、いきいきと活動していくことが可能です。自閉の特性からくる出来ないことに注意を向けるのではなく、どのようにすれば出来るかが増えるのかに目を向けることが大切です。

NEWFACE

新しく翔夢で働くことになった 職員の紹介をいたします。

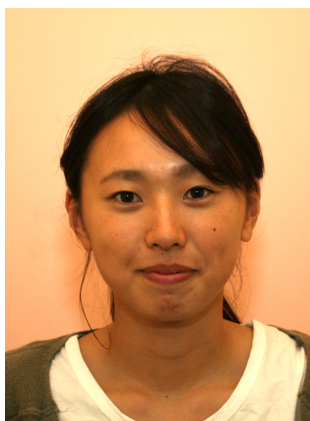
働

かせて頂いてから約三ヶ月が経ちました。翔夢で働くまで福祉のお仕事に関わったことが無かったので一からのスタート。メンバーさんや職員の方にご迷惑をかけたと思います。しかし、そんな中でも皆さん暖かく、何も出来ない私に色々教えて下さいました。そんな皆さんの思いに答えたいという気持ちでこの三ヶ月を過ごしてきました。そして、出来ることがひとつずつ増えてくる喜びや、メンバーさんと深まっていく仲を実感した時に、お仕事のすばらしさを知りました。それと同時に、出来ていくことが多くなってい

く中で立ちほだかる壁や責任、そして知識の無さに学

ばなければいけないことの多さを感じ、改めて福祉のお仕事の奥の深さを実感しました。学ばなければいけないことは沢山ありますが、学びたいという姿勢や、メンバーさんの役に立ちたいという気持ちを忘れずに知識を増やしていきたい、先輩方に近づいていきたいと思えます。そして、先輩方のように支援に対する提案や、メンバーさんから相談して頂ける職員になることを目指し、日々前進していきたいと思えます。

阿波 由恵



皆

さん初めまして。十二月末からボランティアで来させて頂き、一月から翔夢で働かせて頂いている柴山治幸と申します。福祉の専門学校を卒業し、とある病院に働いていたのですが「福祉」とはとてもかけ離れた職場であった為、周囲に反対されつつも早期辞職し、今の職場に出会いました。

十二月末はクリスマスや餅つき大会と行事が続いていた事もあり、利用者の方や職員の方々も大変忙しくされておりました。その中のボランティア活動でした。その中でも利用者の方に対する献身的な支援をされており、笑いの絶えない職場を見ると今までにやっていたボランティアや仕事場にはなかつたものがそこにあるり大変感銘を受けました。今年の豊富としましては、先ずは一步一歩着実に勉強に

励み、少しでも早く職場に慣れることや、利用者の方に対しての関わりを大切にしていこうと考えています。そして

いずれば「障がい者」と言う立場というだけで職が決まらない、住みたい住居に住めない、周囲から受けるありもしない迫害・差別。と様々な問題や社会にまだまだ出来ている壁を壊す一人でありたいです。まだまだ右も左も分からない福祉初心者ではありますが、少しでも早く職員や利用者の方に覚えてもらい、そして頼れるように頑張りたいと思います。みなさんよろしくお願いたします。

柴山 治幸



メンバー紹介

翔夢の施設を利用されているメンバーの方をご紹介します

病になりまして、この病気になるってからは、体調を崩しやすくなり、一年の半分ぐらいは入院しています。さて今年の秋は、四年ぶりに入院しないで自宅で過ごさせて作業所にも来れて喜んでいきます。作業をしながら楽しくおしゃべりをしたり、

今回、紹介するメンバーは地本さんです。地本さんに簡単なプロフィールを書いてきてもらったのでそれを載せたいと思います。私は地本一郎というものです。生まれは大阪市東住吉区です。昭和二十四年五月十六日生まれです。中学校を卒業してからプラスチックの成型を三年ほどしたのち映画のフィルムを運んだりと映画に携わる仕事を長いことしていました。車いすで生活するようになったのはヘルニアの手術をする一週間前に脳出血で倒れ入院し、五回ほど病院を

ジョイネットで紹介させていただくのは、四〇代の僕からみてうらやましい肌の持ち主！糸川 勝さん。音楽と車がとても大好きな男性です。日々の活動の中では音楽の時間がとても好きで、電子ピアノの演奏に合わせて体を使ってリズムを表現したり、ピアノを弾くマネをしたりして楽しく過ごしています。



職員が『一番好きな車は？』と聞くと『この車！』とうれしい言葉。車内は大爆笑でした。（ドラマイブも気分転換になりますよね）これからも、取り組もうとする姿勢を大切にしながら出来ることを見つけていき、一緒に成長していけたらいいなあと思います。 文：坂野 孝

仲良く作業を

三谷 保子 さん

はじめまして三谷保子です。ハートネットでお世話になって

私が発病したのは十四年前に娘を出産してからです、産後うつ病になりました。その後、離婚してからも入院をして、そううつ病になりました。そして六年前からは重症筋無力症という一

〇万人に五人しか発病しない難病になりました。この病気になる

休憩時間にトランプをするのが

楽しみで作業所に来ています。

そして、日替わりのお昼ごはん

も美味しく楽しんでます。皆さん、これからも仲良く協力して

作業をして、楽しく毎日を通じ

しましょう。よろしくお願

いします。

いつも元気な

地本 一郎 さん

転々となりました。それから「さくらんぼ」に入居しました。翔夢では将棋に夢中で昼休憩のときにはいろんなメンバーさんとの対局が楽しみです。と書いてきてくれました。地本さんはいつも元気で休むことなくドリームネットでタオル作業をしてくれています。昼からは機能訓練にも力を入れていて頑張っておられます。 文：三浦

音楽と車大好き

糸川 勝 さん

中でも童謡がお気に入りです、去年のクリスマスソングのシーズンはノリノリでした。カスタネット・タンバリン・鈴などを使うのが好きなようで、普段とは違う表情がうかがえました。そして車については、送迎中は通り過ぎる車に興味しんしん。特に、工事車輛・パトカー・救急車と送迎車（ジョイ号・ドリーム号）など、大きな車が好きなようです。

職員が『一番好きな車は？』と聞くと『この車！』とうれしい言葉。